

生きる力、学びのその先へ ~GIGAスクール@八代市~



GIGAスクール構想とは

- 1人1台タブレット端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、多様な子どもたち一人一人に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現する
- これまでの教育実践と最先端のICTを組み合わせることで、教師・児童生徒の力を最大限に引き出す

ICT機器の整備

- 市内全小・中・特別支援学校の児童生徒1人1台のタブレット型パソコンの整備
- 市内全小・中・特別支援学校の各教室へ大型提示装置の整備
- 授業支援ソフトや学習ソフト、ウイルス対策ソフト、フィルタリングソフトなどの各種ソフトウェアの整備
- 視覚や聴覚に障がいのある児童生徒への入出力支援装置の整備
- 充電保管庫や充電用コンセントの整備

環境整備

- 高速通信ケーブルへの切り替え
- 校内各教室の無線LAN整備



情報化や技術革新、グローバル化などの進展により、社会の急激な変化や将来の予測が難しい時代が到来することが予想される今、情報や情報技術を受け身で捉えるのではなく、主体的に選択し活用していく力が求められます。日常的にICT（情報通信技術）を活用することが当たり前となる社会で生きていくために必要な資質・能力を育むためには、学校生活や学習

など子どもの頃から、ICTを活用できる環境を整備し、活用していくことが不可欠です。本市でも、子どもたちの生きる力を育むことを目的とする「GIGAスクール構想」に沿って、ICTを取り入れた学習活動の充実を図っていきます。

問合せ 学校教育課

☎ 30・1673



「誰でも」「いつでも」 「どこでも」「どの教科でも」



GIGA スクール構想によって、1人1台タブレット型パソコンの整備が行われたことで、子どもたちが「誰でも」「いつでも」「どこでも」「どの教科でも」学習活動の中でタブレット型パソコンを活用することができるようになり、より充実した授業を受けることができます。

個別学習 (一人一人の教育的ニーズ・理解度に応じた個別学習や個に応じた指導ができる)



自分が分からなかった授業内容について、それぞれ自分のタブレット型パソコンを使ってより詳しく調べたり、より詳しく見たい動画を視聴したりして、一人一人のニーズに合った学習に取り組むことができます。また、内蔵されているドリル学習のアプリは学習履歴が自動的に記録されるため、教職員が子ども一人一人の状況を把握し、個に応じた指導ができるようになります。

協働学習 (全ての子どもの考えを引き出し、多様な意見に触れることができる)

タブレット型パソコンを活用することで、一人一人の意見や多様な考えに触れることが容易にできるようになり、新たなことに気づき、自分の考えをさらに深める学習に取り組むことができます。授業支援ソフトを活用することで、離れた席にいる子ども同士が同時進行で文章を書き加えたり、書き直したりして壁新聞を作成するなどの、協働的な学習に取り組むことができます。



遠隔学習 (遠隔地や交流校などを中継でつないだ授業ができる)



泉小学校と泉第八小学校は、定期的にオンラインによる交流学习に取り組んでいます。

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、民間企業と教室をインターネットでつないで学習に取り組んだ学校もありました。社員の話の聞いたり、疑問に思ったことなどを質問したりしながら、子どもたちは学びを深めました。

家庭学習 (臨時休業にも対応)

タブレット型パソコンにインストールしたドリル学習のアプリを活用して家庭での自主学習に取り組めるほか、学校と家庭をインターネットで結んだオンライン授業を受けることができるようになります。また、感染症や災害などの影響で学校が臨時休業などになった場合に備えた対応も進めていきます。



子どもたちの声



「1人1台自分専用のタブレット型パソコンで、社会の授業で資料を見たり、情報を検索したりするのに使っていて面白いです」

「写真を拡大することができるので、細かいところまではっきり見えますし、画面に書き込んだ文字もすぐに消したりできるのが便利です」

「これからは休み時間にタイピングの練習にも使っていきたいです」

ICTの活用を支える体制

教師と児童生徒のICT活用の推進を支えるために、ICT授業サポーターや教育サポートセンターと連携を図っています。

今年度から小学校で本格実施となったプログラミング教育については、熊本高等専門学校や宮嶋利治学術財団と連携協定を結び、教職員向けの研修会を開催しました。

今後も授業やクラブ活動への協力、学校外の専門団体との連携をとってICT活用の推進を図っていきます。

ICT授業サポーター
による教職員向け研修会



連携協定式

教職員と児童生徒のICT活用を支えるICT授業サポーター

ICT授業サポーターとは、授業でICTを活用する際の操作指導や助言など、教職員と連携してGIGAスクール構想を推進していく人です。

現在は4人で活動しており、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、教職員の会議や始業式などにICTを活用する学校が増えたので、活動時間も多かったです。また、令和2年7月豪雨災害で被災した八竜小学校と坂本中学校には、情報共有をICTで行うサポートをしました。

好奇心旺盛な低学年の時からICTに触れることで、学ぶ楽しさを感じたり、いろいろな情報を早く吸収できたり、これからの情報化社会を生き抜く力につながるよう活動していきます。

